

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 カンガルー療育支援室セントラルステーション（放課後デイサービス）

保護者等数(児童数) 2名 回収数 2件 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	1	1			長期休みなど児発の子どもたちと利用時間が重なった際は配慮している
	②	職員の配置数や専門性は適切である	2				児童指導員が1名で負担が大きい。医ケアのある利用者が増えているため(ほぼ全員)看護師が少ない
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	2				玄関から療育室へ直進で入れるよう、スロープ台を2台使用する工夫をしている
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	2				・スタッフ全員でのアセスメント、保護者と定期的な面談を行い支援計画の作成に努めている ・保護者のニーズをしっかりと取り入れていきたい
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2				・季節に合わせた活動プランを考えている ・活動が重ならないように配慮している
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1		1		同一法人内の保育園との交流は図れている
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2				丁寧に説明している
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができています	2				日々お伝えしているが、送迎時間内では共通理解に限界がある為、もっと関わる機会が必要
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	2				対応している
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		1	1		保護者会が開催できていないので、SNS等を利用して開催したい
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1	1			苦情に対しては、迅速に対応している
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2				お子さまのコミュニケーション方法に応じた配慮を行い、保護者様には適切なツール(電話・SNS)を使用する配慮を行っている
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	1	1			・自己評価は行ってホームページに掲載している ・SNSを活用し情報発信を行っているが、全保護者に届いていないため、今後周知していく
非常 時 等 の 対 応	⑭	個人情報に十分注意している	1	1			配慮している SNSでの写真使用については保護者の同意を得て使用している
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	2				保護者等への周知が不十分であったので、今後周知を行っていく
満足 度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2				利用者の災害時用品(食料・内服薬・医ケア品)をお預かりするとともに、定期的に訓練を実施している
	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	2				今後も、お子さまが楽しく、安全に過ごしていただき、ご家族に安心して頂けるよう努めてまいります
	⑱	事業所の支援に満足している	2				今後も、お子さま、保護者様のニーズに沿った支援に努めてまいります

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
 デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。